

相生さん

相生・上郡

(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター
相生市山手2丁目123番地
TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3345

ホームページ
<http://www.aioikamigori-sjc.or.jp>



剪画「獅子舞い」大道 位久男氏 作

安全掲示板

1 高所作業時の安全対策

- ◆脚立、三角梯子使用時の足元接地面の安全確認
- ◆安全保護帽、安全帯の使用



2 交通安全意識の啓蒙

- ◆自転車乗車交通安全講習会の実施
- ◆パンフレット等の配布

主な内容

- 総合P2~P3
 - ・安全適正就業講習会
 - ・介護事業月例研修会
 - ・相生地区懇談会
- 100号記念特集P4~P7
- 活動状況報告P8~P9
- 会員の広場・親睦委員会便り...P10~P12
 - ・連載手記「水墨画をはじめて」
 - ・研修旅行
 - ・作品紹介



「安全適正就業講習会開催」

「全国シルバー人材センター安全強化月間」に合わせ、7月18日(土)、相生市立総合福祉会館において相生・上郡地区会員89名が参加して「安全適正就業講習会」を開催しました。

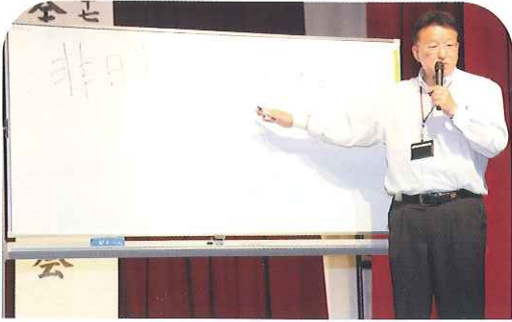


始めに、山本理事長より、自転車走行時の事故防止の取り組み

をお願いしたいとの挨拶がありました。

続いて、事務局から、昨年度の事故の概要、パトロール結果の報告、及び4月から無事故を継続中で更に伸ばすよう取り組みに協力、要請がありました。

続いて、講演会では、関西国際大学人間科学部犯罪心理学教授・西岡敏成氏による「笑って身につけよう振り込め詐欺 高齢者の交通事故防止」と題して講演をいただきました。まず、振り込め詐欺について、人は日常的



また、「危険な場所」をなくすること、それは、環境面で汚れた町を指し、「汚れた町」とは、地域の人の無関心さ、監視が疎かな町として映り犯行に最適な場所になっている。これらの犯罪を防止するための共通点は、「自助」「公助(行政や自治体)」も大切であるが、最も大切で身近な「共助」で



には知識、経験などで正常な判断で対応することができるとが、しかし、

犯人は、真に迫った演技、親心につけ込む、時間的制約など、感情心理を混乱させるという、非日常的な環境をつくることで被害者を焦らせ、冷静な判断をさせないようにするの狙いである。

次に、こどもへの犯罪が後を絶たない。最近の犯人は、「知らない人」ではなく、意外と近くの人や、こどもがいつの間にか知り合いになっている場合がある。

「介護事業研修会開催」

「救急救命講習会に参加して」

ヘルパー室 田中 詩奈子

ある。これには、「地域のより良い人間関係」による連携プレーが必要になってきます。講師の西岡氏がお話の中で何度も口にされていた「陽だまりの樹の下に人が集まる」は、犯罪防止に意味深いものが感じられました。氏は、元警察官時代の知識、経験を例にとつて、終始ユーモアを交えて分かりやすく話され、会場は爆笑の中にも真剣なまなざしで受講していました。

6月30日(火)、当センター事務所二階会議室において、西はりま消防組合相



生消防署の救急救命士・萩原氏に来て頂き、ヘルパー等22名が心肺蘇生法

の講習会を受けました。

このような講習により多くの人が心肺蘇生法を身につけ、各施設にAED(自動体外式除細動器)が設置され、当センターも昨年設置しております。私も幾度となく講習会を受けましたが、その都度思い起こすのは、「もう少し早くできていれば私の父も救えたのではないかと思っています。」



父は、18年前で

イサービス中に施設で心臓発作を起こして亡くなりました。「あの時、AEDがあつて使われていたら」と悔やまれます。

私のような「悔しい」そして「悲しい」思いをされる人がなくありますように、救命を心掛け、繰り返し講習会に多くの人が参加して、いざという時に「あわてず」「あせらず」「手順よく」「行い一人でも多くの人の命を助けられたらと思います。これからも、救命に取り組み精進していきたいと心掛けていきます。」

事務局便り

《地区懇談会開催》

恒例の相生地区懇談会が、各地区の世話人が中心となり、7月5日（日）から8月8日（土）までの間12会場で開催されました。

この地区懇談会は、会員相互の意見により地域の活性化を図るとともに、会員から直接意見等を事務局が



聞き、シルバー運営に反映し、活力あるシルバーとすることが目的であります。

本年度の参加者は、159人で猛暑の中での開催であり、参加率は、31.5%で少ない参加率となりました。



懇談会は、初めに事務局からの報告として、本年度の重点項目としての「ワークプラザの建設」・「中期計画の策定」・「会員の拡大」及び「安全就業・安全対策・日々の心得」の取り組み状況の説明がパワーポイントを使用して行われました。

その後の意見交換では、「総会の開催」・「地域懇談会への参加率の向上」「就業の環境条件」・「安全に対する取り組み」に対する意見を始め、シルバーの運営に対する意見・提言がありました。

この懇談会での意見・提言は、集約し、センター運営に参考とさせていただきます。また、会員の皆さんには世話人を通じてお知らせいたします。

地区懇談会に出席して頂いた、会員及び世話人の皆様お疲れ様でした。



平成27年度安全成績

(平成27年4月1日～8月末)

	安全目標	結果
重篤災害件数	0件	0件
一般災害件数	5件以下	0件
休業日数	120日以下	20日
物損事故件数	5件以下	0件

現在無事故継続中
これからも無事故で

見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験！



会報創刊100号特集

《会報「燦」100号に寄せて》

理事長 山本 肇



ここに、会報「燦」の創刊100号の記念すべき会報を会員の皆様にお届けできることは、大変喜ばしいことでありますとともに、これまで、会報発行にご尽力頂いた会報委員をはじめ発行に携わった方々に敬意と称賛をお送り致したいと存じます。

特に、表紙を飾って頂いております剪画を創作されております「大道位久男氏」の常人を超えたご努力と制作意欲には、感嘆の拍手を送らせて頂きます。氏の作品は、「錦上花を添う」のたとえの様に、読者の目を惹きつけていると考えるのは、何も私だけではないと思います。

今後とも、会報「燦」が末永く発行出来、皆様に愛読されますことを心から念じますとともに、会員皆様のご健勝を祈念いたしながら、100号発行のお祝いの言葉とさせていただきます。

会報タイトルの遷り変り

※ 会報のタイトルは現在の「燦」で6代目、その一部を紹介し、当時の掲載記事、出来事等を紹介します

相生市シルバー人材センター
センターだより
No. 1. 60年 2月 1日

また地味がひとりでして86年に移りました。どうかこの年も園の内外に嫁のうちそとに平和が戻りますように。先ずは自分自身が健康であることです。シルバー人材センターも尺取虫が参りよりにコソコソと踏8字を練習しましたが、会員皆さんの誠意ある態度が市民の方々に、浸透してきたことは何だ喜ばしいことです。今年も引きつづき完成まで頑張ってください。

12月末の現況
会員数 206名(内女性127名)
仕事の届 720件 得った人は11,680人

一般市民の方から働く仕事は、公共的な仕事を金面面で出です。そして、相生市以外の仕事は全体の約2割となっています。8月の年度末予備4就職人員1,600人ですが、次の仕事員があるまでです。上郡とかが学際ります。仕事を取らなくてはまず会員皆さんの口から口へ伝えて貰うことが、お金のかかる新築新築よりも望みの結果が大きいですので、ご協力願います。

※年度末までの大きな仕事

1. 1月5日～16日 新宮町文化財発掘作業(終了)
1. 1月17日より1ヶ月間 祭教育委員会 次子町上太山文化財発掘作業
3. その他、引越して阿蘇市南町の文化財発掘が、約1ヶ月予定されています。
4. 2月28日～3月20日(予定) 相生市南緑組合 御田舎植栽4ヘクタール 1,6000本(植栽)
5. 3月10日頃より 東條新区画整理協議委員会 協定と発掘作業 当分の間
6. 3月下旬より 新宮町の文化財発掘が予定されています。

創刊号 昭和60年2月1日

- ・当初情報誌として発行した
- ・会員数:206名(内女性27名)
- ・1泊2日の研修旅行案内(行先は淡路アイランド博)
- ・この年、相生・上郡広域シルバー人材センター設立
- ・国内の出来事 日航ジャンボ機御巣鷹山に墜落

会報
シルバー相生・上郡
94 4/15 No.27
編集発行 編集委員会
相生市シルバー人材センター 相生市山手2丁目125番地 0791-22-4050

力漣 相生ペーロン祭協賛会提供

ドジッタン

相生ペーロン祭

第90号 平成24年7月

- ・会員数 681名(内女性143名)
- ・創設30周年、並びに公益社団法人の認可を機にタイトルを「燦」に変えました。
- ・平成24年度定時総会
- ・互助会解散の報告
- ・国内の出来事 京都大学・山中伸弥教授、ips細胞研究でノーベル生理学・医学賞受賞

① 平成24年7月 シルバー相生・上郡 会報夏号 NO.91

燦 相生・上郡
(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター 相生市山手2丁目125番地 TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3315

可商「初夏の相生中央公園」大道 位久男氏 作

第27号 平成6年4月

- ・会員数 353名(内女性89名)
- ・今回からタイトルが「センターだより」から「会報」に変わりました。
- ・会員のシルバーとの関係関係の説明
- ・会員の各就業状況をカメラポとして紹介
- ・国内の出来事 日本女性初の宇宙飛行士向井千秋さん「コロンビア」で宇宙へ



設立記念行事

10・20周年は
花房希子ショーでした

小林幸子の
そっくりさん

研修旅行



能登・和倉温泉へ
(H19.12.19)



相生上郡広域シルバー人材センター 世界遺産厳島神社参拝記念

世界遺産・厳島神社参拝
(H12.11.22)



バスに揺られて善光寺参り
(H13.10.29)

芸能祭



相生・上郡シルバー人材センター互助会
第一回芸能祭

銭太鼓のみなさん



皆さんかくし芸が
うまいですなあ・・・



ボランティア活動



「羅漢の里もみじまつり」でゴミ袋を配布

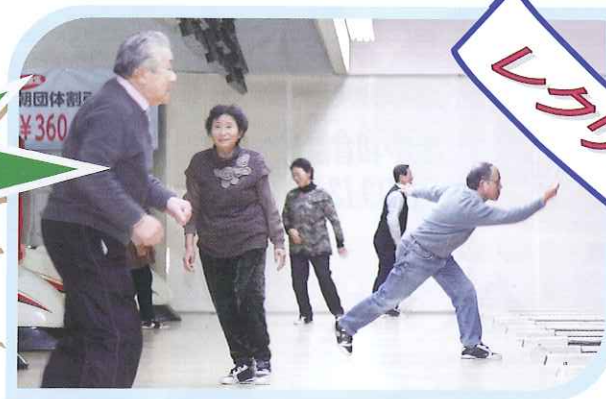


園児とのふれあい活動



「相生パーロン祭」で清掃活動

- ・ ボーリング
- ・ グラウンドゴルフ
- ・ 輪投げ



レクリエーション



7点ゲット!



大道 位久男先生

「獅子舞い」のおもいで
 会報「燦」が100号という
 ことですが、私の剪画を表
 紙に掲載していただいて10
 年になります。

その間、30作品を作成し、
 今回が会報「燦」の100号
 の記念誌という歴史となる
 表紙を飾らせていただくこ
 とを光栄に思います。

10月発行にふさわしい表
 紙絵は何が良いかと考え、季
 節的に神社のお祭りに欠か
 せない「獅子舞い」の剪画を
 作成しました。

わたくしも、若い頃(昭和
 27年)に一度だけ「獅子舞い」
 に出た思い出があります。
 今振り返れば、あの時代は
 良かったなあ?...

表紙を飾る剪画集

大道先生の新年号への「干支」を掲載して以来 10 年となり、あと 2 年で 12 干支ひと回りとなります。その間 30 作品の剪画で会報表紙を飾って頂きました。

今回 100 号記念誌を機に、編集委員会として印象に残る表紙の剪画を選定させていただきました。



2005(H17)年新年号
(No69) 第1作
「干支 とり」で飾る



2008(H20)年秋号 (No79)
相生市庁舎前のペーロン
交流都市である長崎市から、
市制 60 周年記念に寄贈された「長崎の鐘」
「広島・長崎の原爆の日」
および「終戦記念日」に
市長はじめ関係者一同が
代表して鐘を鳴らします。



2014(H26)年
秋号 (No97)
造船の町「相生」を
懐旧の念とともに
剪画にした。「豪華
客船のドック入り」



2009(H21)年秋号 (No82)
上郡町庁舎前に堂々と
立つ「大鳥圭介(1832～
1911)」の像。同町出身で
明治維新後、日本の近代
化に貢献した。軍人、政
治家、文人など様々な側
面を持つ郷土が生んだ
異色の偉人として愛され
ています。



2015(H27)年
新年号 (No98)
「干支 ひつじ」
大道先生の干支
剪画を掲載して
10 年をむかえま
した。



《ワークプラザ》

事務所建設事業

平成26年度から建設検討委員会を設置し、「建設場所」、「施工方法(設計施工)」、「諸室計画」、「建設規模」、「施工業者の決定方法」など検討しました。



写真は正面北側からの視点

それを受け、施工業者を指名型プロポーザル(提案)方式により、審査の結果、「大和リース(株)」を

施工業者と決定いたしました。提案内容は次の通りです。

◎ 建物概要

- ・ 構造種別…軽量鉄骨造
- ・ 屋根…カラーガルバリウム鋼板葺
- ・ 外壁…窯業系サイディングボード
- ・ 階層…2階建

◎ 工事内容

- ・ 延べ面積…484㎡
- ・ 諸室…事務所、介護事務所
- ・ 多目的作業所、会議室
- ・ 役員室、休憩室等
- ・ 建物外観イメージ
- ・ 建物完成予想写真のとおり
- ・ 平成27年度
 - ・ ボーリング調査、敷地測量
 - ・ 実施設計、詳細設計、確認申請業務
- ・ 平成28年度
 - ・ 物置等撤去、事務所等建設
 - ・ 工事、旧事務所等撤去、外構工事

建設検討委員会では、新築されるワークプラザ・事務所等が当センター

の活動の拠点として、利用しやすい施設になるよう、施工の監督を致します。



写真は北東側からの視点



写真は完成予想

【中長期計画の策定】

平成26年度から策定作業をおこなっている「中長期計画(平成28年度から10年間の当センター事業の取り組みべき基本的な計画)」は、昨年度に策定委員会を立ち上げました。まず、策定委員、センター役員、事務所職員によるアンケート調査を実施しました。その調査内容は、「当センターが直面している問題点、その理由、背景、解決する方策」と「当センターの認知度を上げるために役立つこと、その理由、背景、その方策等」について調査しました。その調査結果から、当センターの課題としては、「会員では、拡大とスキルアップ」、「就業では、安全・適

正及び開拓」、「センター組織では、活性化」、「財政運営では、健全化」などが抽出されました。

今後は、策定委員会により、この課題を解決するための方策を「基本目標」、「基本計画」、「実施計画」、「実施項目」として作成し、中長期計画として策定していきます。

この中長期計画は、毎年度進行管理を図りながら目標達成に努めることにより、より良いセンターづくりをめざします。

9月～12月は

会員拡大運動重点期間

として取り組んでいます

皆様のご協力をお願いいたします

《ボランティア活動》 《相生地区》

8月23日(日)、29日(土)、30日(日)の三日間、市内5小学校(矢野・相生両小学校は耐震工事のため除く)の清掃作業がありました。

当シルバー会員延べ65名は、樹木の剪定、除草、校舎の窓ガラスの清掃ボランティア活動に参加しました。会員の中には今年も、自前の草刈機、剪定鋏、鋸等の道具を持参して参加された方もいました。

児童、学校の職員、PTA、自治会、スポーツクラブ、そして私達シルバー会員まで幅広い年代の人達が、それぞれに出来ることを分担しての清掃活動でした。

地域の中でボランティアをすることは、単にその地域の役に立つと言っただけでなく、子ども達との「心がふれあう出会い」も楽しみの一つです。



「シルバーのみならず、きれいにしてくれ



てありがとうございました。子ども達の純粋な感謝の言葉にキラリと光る物を感じました。

みんなで共に汗をながしながら、作業をやり終えた時の満足そうな喜びの笑顔を見ると、作業をしているみんなが、たくましく感じました。

今年も、各小学校共、6月に運動会が終わっていますが、児童たちは、美しくなった学校で、今まで以上にスポーツに勉強に励んでくれることでしょう。

参加された皆さん、残暑厳しい中、本当にお疲れ様でした。



《上郡地区》

8月21日(金)夕方、上郡地区の会員18名は、当日の作業終了後、上郡町第三庁舎周辺の草刈・清掃作業を実施しました。

年々、猛暑が

更新されるような毎日ですが、熱中症にも配慮しながら広い面積にも拘らず作業は効率よく進み、周辺はスッキリとなり無事終了したことが本当にご苦労さまでした。

残暑はまだまだ続きますが、ご自愛くださいますようお願いしています。

《シルバー・ドライバースクール開催》

スクール開催

7月12日(日)、

相生警察からの要請で、相生自動車教習所で開催された、「シルバー・ドライバースクール」に、19名の会員が参加しました。

はじめに、屋内講義で、相生警察署職員から



自転車の悪質運転者対策として、講習制度が6月1日から始まったなどの説明を受けました。

屋外講習では、教習所指導員から、運転姿勢、エコ発進の要領、交差点における右折時・左折時の安全確認のポイント、幅員の狭い道路における安全確認のポイント等について現場での説明ののち、指導員同乗のもと、実車での安全走行訓練を行いました。

実車では、運転姿勢・スピード感覚・交差点進入速度・停車位置・交差点確認等について指導員による採点が行われ、それぞれ受講者は、注意すべき点を確認しました。



受講者からは、指導員の同乗・他の受講者の前での乗車であり、大変緊張もしたが、運転の基本を再確認できてよかった等の感想もあり、安全運転を考える一日となりました。

会員の広場

『連載手記』『水墨画をはじめて』

【第一回 友達に誘われて】

森岡 榮

会社を退職して、家にいた頃友達に水墨画教室に誘われました。



その時、ふと浮かんだのが子どもの頃に唄った

「通りゃんせ ここは何処の細道じゃ 天神様の細道じゃ・・・」という歌でした。

退職後、家にいるとさほどの用事もなく、居ても居なくてもよい存在に思いました。

「細道じゃ」が、年を重ねていく自分の将来を「この子の七つのお祝いにお札を納めに参ります・・・」のように、いっぱい用事をつくり、まだまだやらなければならぬ事が、沢山あると思いい入門しました。入門して驚いたことは、



女性ばかり10名で、男性は私だけ、少し戸惑いがありましたが、何事も前進あるのみと思い、入門と同時に同好会にも入会しました。

水墨画を習うのに、墨・紙・筆の大小の直径12センチの小皿と筆洗いの道具をそろえました。

水墨画は、色彩を用いず、黒一色の線および濃淡で心境を表現する絵画です。

習い始めてから数年後、「わび・さび・喜び・遊び・学び」の「五つのび」を心掛け、ようやく勢いのある筆運びと、納得のいく墨の濃淡が描けるようになりなりました。

楽しみなが、何度描き学習して、この手で覚えるしかありません。

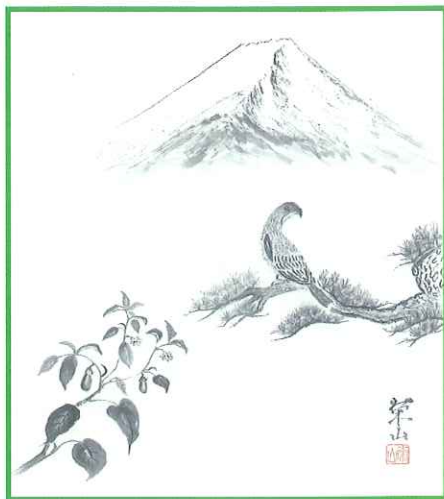


水墨画を習い始めてから、那波の生きがい交流センターにて、毎年11月中旬頃に、各部門ごとの作品展があり、私も出品

させてもらっています。皆さんの作品は本当に良い作品ばかりで、とても参考になります。

展示会場では、出品者同士で失敗談や苦労話で花が咲き今後の励みになります。

(次号につづく)



お知らせ

◆ もみじまつりに出店

- ・ 期日 平成27年11月8日(日)
- ・ 場所 相生市矢野町「羅漢の里」
- ・ 内容 ①「焼き芋」「ちりめんじゃこ」等の販売

②環境改善グループの「EM石

酸」のほか、「EMぼかし肥料」の展示・即売

◆ 高齢者自転車安全運転講習会

- ・ 期日 平成27年11月14日(土)
- ・ 午後1時30分から約2時間程度
- ・ 場所 相生自動車教習所

◆ 兵庫県シルバーフェスティバル

- ・ 兵庫県シルバー人材センター協会から開催案内がありました。
- ・ 期日 平成27年11月22日(日)
- ・ 23日(祝・月)
- ・ 午前10時から午後4時
- ・ 場所 デュオこうべ

- ・ 内容 シルバーセンターの仕事の実際やPRなど

◆ ボーリング大会

- ・ 期日 平成28年1月下旬
- ・ 場所 相生スカイレーン

親睦委員会便り

「世界遺産めぐり 宇治平等院と

醍醐寺研修旅行」

平成27年7月4日(土)相生地区83名、上郡地区33名の会員がバス3台に分乗して「宇治平等院と醍醐寺三寶院めぐり」の研修旅行が実施されました。



梅雨時でもありましたが、バスを下車して散策する時、傘を差さずに歩くことができたことは幸いでした。最初に訪れたのは、月桂冠大倉記念館での見学と試飲で、ちよつぷりほろ酔い加減の会員も、次に雨月茶屋にて昼食、京料理に舌うちしながら賞味しました。続いて、醍醐寺三寶院(1115年創建)、最後に平等院(1052年創建)へ、阿弥陀如来を安置している所が鳳凰堂と呼ばれています。

院内では、浄土式の庭園・梵鐘など平安時代の多くの文化財が集約されており、まるでタイムスリップしているようでした。

会員の就労場所では数人単位ですが、年一回の研修旅行が会員同士の親睦を図る唯一の機会です。

特に、昼食時や車内での飲食を共にしながらの歓談で会員同士のつながりを深めることができました。

バスを降り

る際には両手にお土産を持って家路につき、楽しい一日を過ごすことができました。

来年もまた楽しい研修旅行に多くの会員と共に参加したいと思います。



介護・家事援助のご相談はシルバーセンターへ

働く意欲にあふれた介護士さんやヘルパーさんが、学習会や研修会を重ねて「やさしく、ていねい」をモットーに暮らしのお手伝いをしています。

なお、家のお掃除・買い物・料理など家事援助も行っております。

会員のご親戚や知人にご希望の方がありましたらお気軽にお電話ください。お伺いしてご相談に応じます。

ヘルパー事務所 Tel 22-4611

(シルバーセンター事務所 22-4050)



新入ヘルパー 藪内さん



麻ひもで作ったバッグ
北川 初美 さん

作品紹介



自作のウッドデッキ
高田 和郎 さん

会員の入退会状況

(平成 27 年 5 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)

【新入会員】相生 15 名・上郡 6 名 合計 21 名 (敬称略)

《相生地区》中谷美智子・山根 重美・久野 幸男・森永 文代・徳永 泰通・松浦 敏明・堀端 茂伸
 荻野美枝子・平井 勉・出水 啓雄・田村 良雄・堤 るみ子・中原 庸之・大田 武・石中 義数
 《上郡地区》益田 隆・高田 正揮・高田 和郎・岸根 文男・井上 朝子・平井 康郎

【退会会員】相生 17 名・上郡 6 名 合計 23 名 (敬称略)

《相生地区》安田ゆり子・出口 鉄雄・安福 正義・久保 俊昭・松本 正信・立巳 福松・高原 俊典
 品川 克子・福嶋 佳良・井上 静夫・竹内 八郎・高岸 昭夫・新村 勝夫・吉田 信栄・間山 珠美
 中本みや子・川崎 久令
 《上郡地区》高橋 広子・長橋 末廣・大林 勝彦・宮本 登・為本 義弘・西山 義和

【在籍会員数(人)】

相生地区	上郡地区	全 体		会員合計
		男 性	女 性	
568	100	515	153	668

編集後記

1985 年(昭和 60 年)2 月に「センターだより」として第 1 号が誕生してから 30 年。今回発行の「燦」で 100 号を迎えることができました。

今日に至るまでの先輩編集委員の方々に心より感謝申し上げます。

現在は、パソコン・スマホ等の活用が必須の時代となり、会得しても進化のスピードに取り残されないよう着いていくのが精一杯の時代ですが、私たちには、取材や仕事を通じて素晴らしい出会いがあります。その「つながり」を大切にしながら、「燦」がシルバー世代にもできる情報の伝達として活かされるよう、さらに充実したものにしていきたいと思ひます。

今後も「雨垂れ石を穿つ」のことわざのように、今日までの歴史を絶やすことなく継続していき、より親しんでいただける会報作りに心掛けて参ります。

編集委員会発行 (有田・浦川・濱中・松本・森川)